

(別紙様式)

【事業区分：経営力向上・高付加価値化】

北上地方生活研究グループ連絡協議会

こんにゃくクラブ

○グループの紹介

北上地方生活研究グループ連絡協議会は、主に北上市内の農業女性で構成している団体で、「こんにゃくクラブ」は下部組織として、会員有志により令和2年に新たに設立したグループです。

これまで、安定した原料芋の確保のための栽培技術と、保存方法の研修、先進地視察研修、新商品開発のための試作といった活動を実施してきました。



○人数

9名（うち女性8名、男性1名）

○経営区分

農業 8名・その他 1名

○事業目的

こんにゃく芋の生産技術の向上および加工販売の知識や技術を習得し、地元産農産物加工による特産品を開発し販売することで、農産物の高付加価値化を図り、会員の生産販売意欲向上や地域社会振興に貢献することを目的とする。

○事業実施実績

実施内容 (具体的な内容・方法)	時期	場所	備考
研修会の実施 ・産直販売者事例 ・製造事業者事例	7月27日 8月1日	住田町 岩手県農業研究センター	
商品レパートリー、パッケージデザインの検討 ・レパートリー拡充 (こんにゃく試作)	11月16日	江釣子多目的センター	
(真空パック詰め試作)	11月20日	〃	
(こんにゃく試作)	11月24日	〃	
(真空パック詰め試作)	11月25日	〃	

<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン委託 (まんずデザイン相談の日) (食品表示シールの内容の相談) (" ") (" 製造場所表記の相談) (委託契約 締結) (委託契約 納品) 	<ul style="list-style-type: none"> 9月21日 10月19日 11月7日 12月4日 1月18日 1月30日 	<ul style="list-style-type: none"> 岩手県工業技術センター 岩手県中部保健所 〃 JAいわて花巻 北上アビリティセンター 〃 	
--	---	---	--

○活動の成果

1 研修から学んだこと

- ・こんにゃく製造販売事業者の方の事例研修で、原料芋はサイズによって品質に差があるらしいことが分かった。今後、加工する際には、できあがりの品質を揃えるためにも、適度な大きさの芋で揃えていくことを検討したい。
- ・原料芋を栽培し、加工したこんにゃくを産直販売している方の事例研修では、特にこれまで会員が習得しきれなかった芋の越冬保存技術について、温度、湿度、換気などの管理のヒントをもらった。
- ・お二人からの研修を終え、原料芋の越冬保存の代わりに手段としては、加工賃がかかる乾燥粉末ではなく、茹で芋で冷凍する方法が私たちには合っていることが分かった。



こんにゃく芋の栽培から、加工、販売している生産者の事例を研修



こんにゃく製造と販売を手がける事業者の事例を研修

2 バリエーション豊富な商品の完成

(1) 商品レパートリーの拡充

- ・プレーン… 私達の基本商品であり、マグロの刺身のような食感は、今までに食べたことのない食感、市販品にはないものと、自信をもって設定。
- ・桑茶入り… 桑茶は、北上市更木地区の特産品である。桑茶は食物繊維が豊富でカフェインが少ないことから、健康を気にする人にも注目されており、風味も緑茶のようで、これをこんにやくに取り入れることは、地元産農産物加工の特産品をとという私達の目標にも合致するものであり、設定することとした。
- ・おから入り… 大豆とこんにやくという、腸への健康作用を期待し、設定することとした。

(2) 食べ方の提案

- ・さしみこんにやくとして、火を通さず生で食べられることを「そのまま食べて！」と表現。
- ・クセがないので、どのような味付けにも合うことを、「わさび醤油、からしみそ、三杯酢で」と表現。
- ・おから入りタイプは、ステーキ風に焼いて焼肉のタレで食べるなど、さしみこんにやくとは別の、ボリュームあるおかずとしての食べ方を提案。

(3) 真空パック商品の製造

- ・日持ちと、遠隔地に届けられるよう、また、扱いやすさから、真空パック入りを試作した。容量を減らして見た目もシンプルになったことで、従来の輪ゴム止め商品より洗練されたものとなり、贈答品にもなり得る商品となった。
- ・専門家からのアドバイスから、今後、さらに容量を変えて、一口カットしたもの、食べきりサイズのものも検討することとした。
- ・専門家からのアドバイスから、産直用に、気軽に手に取ってもらえる、従来の輪ゴム止めの商品も残すこととした。



容量を減らした真空パック商品の試作



従来からの、輪ゴム止めした商品

(4) パッケージ用ラベル等とリーフレットの作成

- ・前年度までの活動成果を活かし、ラベルについては「こんにやく芋のシルエット」のデ

ザインを採用した。

- 真空パック商品には耐水性素材のラベルを貼り付け、輪ゴム止め商品には、同じデザインのタグとして輪ゴム部分にくくり付けることとし、統一感を持たせることができた。
- 芋の栽培の様子から製造までの私達の活動を、写真で紹介するリーフレットを試作した。こんにやくを擬人化し、『こんにゃく君のひとりごと』として商品ができるまでの工程や想いをつづり、発信することとした。



3種類のラベル・タグ(左)とリーフレット(右)の試作品



○次年度に向けて

来年度から、いよいよ新たなレパートリーで販売を展開する。

今後は、地元産こんにやく芋の生産を拡大し、さしみこんにやくという地元産農産物の加工と販売をとおして、会員の意欲向上や地域社会への振興に貢献できるよう(例えばふるさと納税の返礼品)、今後も研究、努力を重ねたい。